

アマテラスを嫌っていました。それに支配されている自分を嫌っていました。アマテラスそのものの心を出しながら、そんな自分を認めるのがいやでした。でも今アマテラスも神の子、田池留吉の愛に包まれて、軽やかになっていくのを感じます。懐かしい、田池留吉のもとに帰りたいと願っている意識を感じます。宇宙が変わっていくというのは、このように多くの闇の意識がどんどん田池留吉の愛によって波動によって変わっていくということだったんだととても嬉しくなります。この宇宙すべてが田池留吉の愛の波動を流し始めたとき、そこはまさしくエルカンターレ、私達の心のふるさとの再現だと思います。こんなすごい時期の始まりの時、田池留吉が肉もったとき生んでいただいて良かったとつくづく思います。ありがとうございます。ありがとうございます。